

令和2年度 研究開発評価シンポジウム
「研究開発戦略の立案と研究開発評価のあり方」
～組織の目標・戦略から具体的な研究実施までの連結～

1. 趣旨・目的

大学や国立研究開発法人に研究経営の高度化が求められている中で、いかにして、研究に関する組織的な目標や戦略を形成し、それらを部局や個々の研究者の多様な研究活動と連結させていくかは課題となっています。そもそも、研究活動は長期間を要することも多く、多様な研究分野における多様なアイデアや方法を支援しながら進めることが求められます。しかしながら、大学や国立研究開発法人は、特定の目標期間の中で、学術のみならず政策的な動向も意識しながら、目標や戦略を形成し、それらの方向に組織を導いていかなければなりません。

本シンポジウムでは、大学および研究機関から取組事例を紹介していただき、いかにして研究に関する長期や短期の目標・戦略を形成しているか、組織内外の多様な研究活動の状況や内容を把握し、いかにそれらを目標・戦略形成と連結させ、あるいは、研究の推進をおこなっているのか、そして、それらの取組の中で、目標の進捗管理や研究開発の実施・成果の状況をどのように分析・評価しているのかをお伺いします。シンポジウムを通じて、目標・戦略の設定と評価に関する課題点やあり方を模索していきたいと思います。

2. 開催日等

開催日 令和3年3月9日（火） 13時30分～16時10分

3. 開催形態

web セミナー形式

4. プログラムの構成

講演とパネル・ディスカッション

5. 受講料

無料

6. 定員

200名

令和2年度 研究開発評価シンポジウム
「研究開発戦略の立案と研究開発評価のあり方」
～組織の目標・戦略から具体的な研究実施までの連結～

開催日時：令和3年3月9日(火)13:30～16:10

開催形態：web セミナー形式

プログラム

開 会	
13:00	開場（web 上で開場）
13:30	開会
13:30～13:35	開会挨拶
第 I 部（講演）	
「研究開発戦略の立案と研究開発評価のあり方」の実例	
13:35～13:50 (15分)	1. はじめに ー本シンポジウムの趣旨についてー 林 隆之 政策研究大学院大学 政策研究科 教授
13:50～14:15 (25分)	2. 立命館大学 ー立命館大学の長期戦略と研究マネジメントについてー ～R2030 チャレンジ・デザイン！次世代研究大学を見据えて～ 野口 義文 研究部事務部長 兼務 産学官連携戦略本部副本部長
14:15～14:25 休憩（10 分間）	
14:25～14:50 (25分)	3. 熊本大学 ー熊本大学における研究開発戦略とマネジメントー 松本 泰道 理事・副学長（研究・地方創生担当）
14:50～15:15 (25分)	4. 東京理科大学 ー内的動機による研究と応用・ミッション志向型研究の往来ー ～九大と理科大での取組経験などから～ 若山 正人 副学長（国際化、データサイエンス教育・研究、 学外連携担当）、理学部教授
15:15～15:25 休憩（10 分間）	
第 II 部（パネル・ディスカッション）	
「研究開発戦略の立案と研究開発評価のあり方」について	
15:25～16:05 (40分)	5. パネル・ディスカッション モデレーター 林 隆之 政策研究大学院大学 政策研究科 教授 パネリスト 野口 義文 立命館大学 研究部事務部長 兼務 産学官連携戦略本部副本部長 松本 泰道 熊本大学理事・副学長（研究・地方創生担当） 若山 正人 東京理科大学副学長（国際化、データサイエンス教育・ 研究、学外連携担当）、理学部教授 栗本 英和 名古屋大学 教授・教養教育院副院長
閉 会	
16:05～16:10	閉会挨拶

※スケジュールは予告なく変更となる可能性がありますことをご了承ください